

3 日常生活について

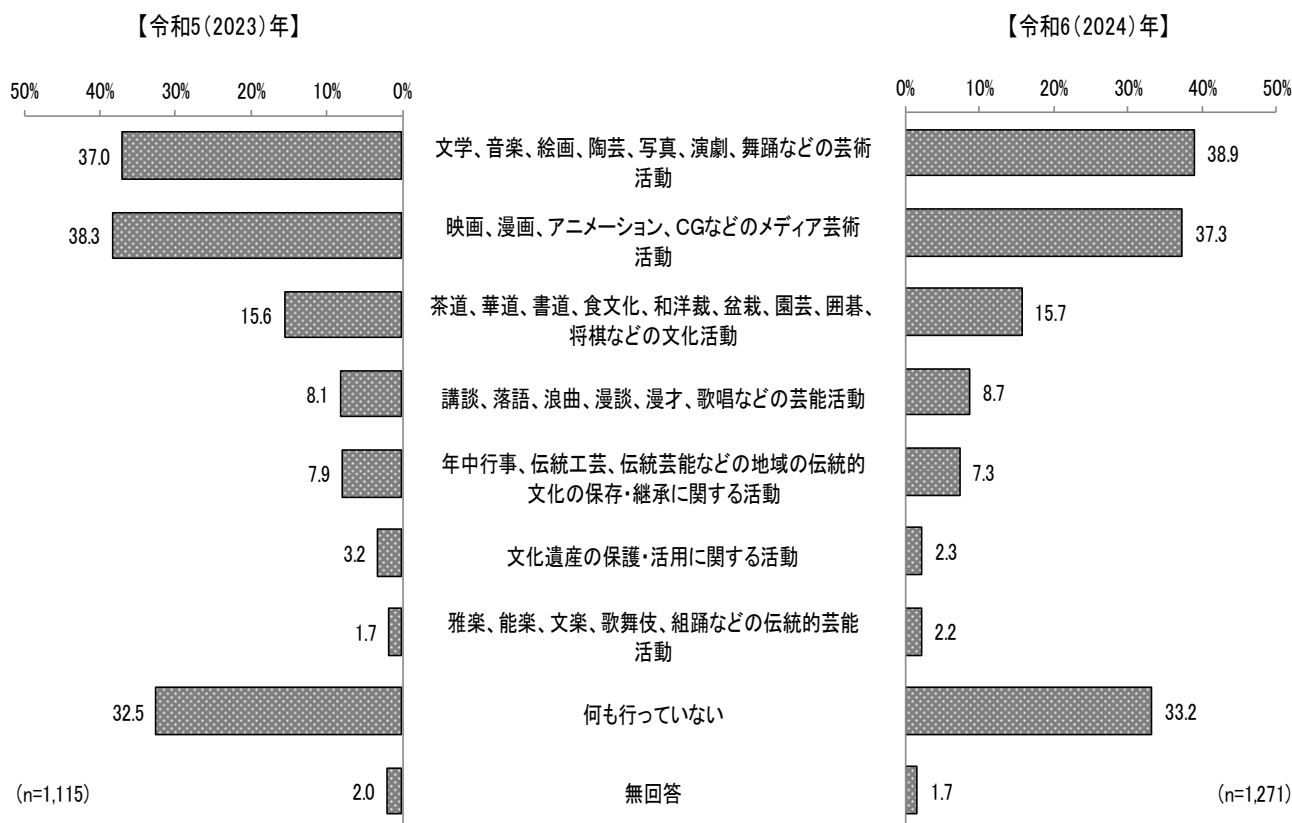
(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,271]

1	文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	38.9%
2	映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	37.3
3	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動	2.2
4	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動	8.7
5	茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	15.7
6	年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化的保存・継承に関する活動	7.3
7	文化遺産の保護・活用に関する活動	2.3
8	何も行っていない	33.2
	(無回答)	1.7

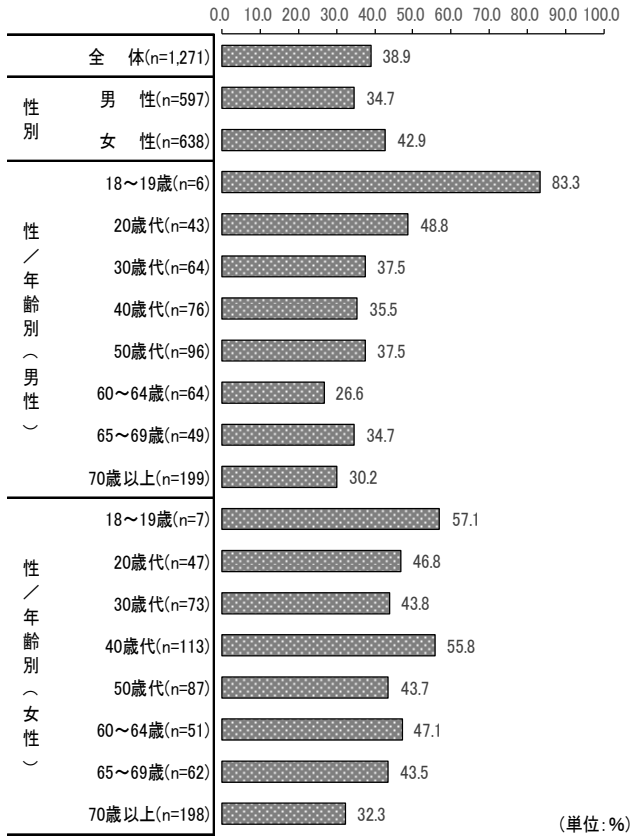


全体でみると、「文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」（38.9%）が4割弱で最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動（以下『メディア芸術活動』という。）」（37.3%）の順となっている。一方、「何も行っていない」（33.2%）が3割台前半となっている。

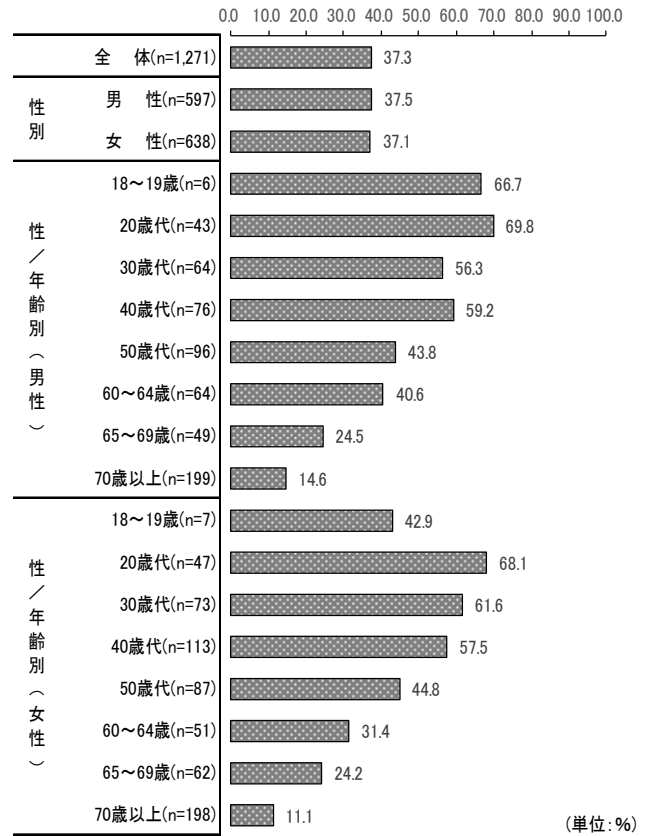
前回（令和5（2023）年）の調査結果と比較すると、『芸術活動』では1.9ポイント増加している。また、「何も行っていない」は同程度となっている。

[性別・性／年齢別]

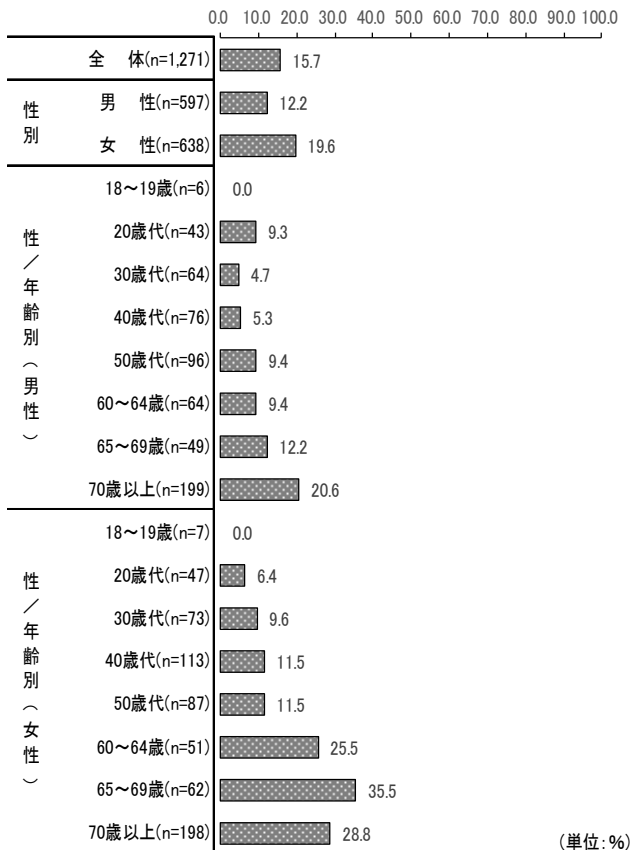
文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動



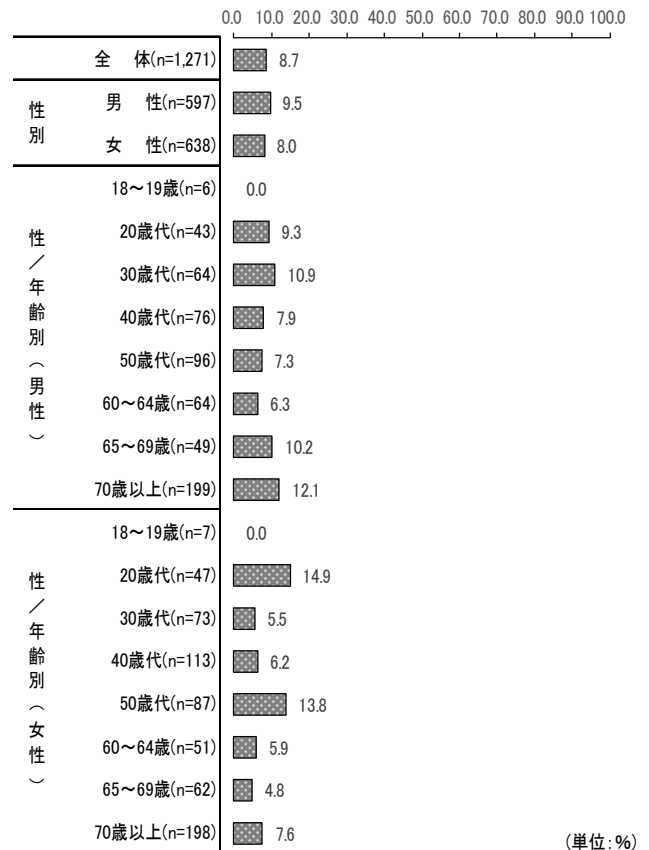
映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動



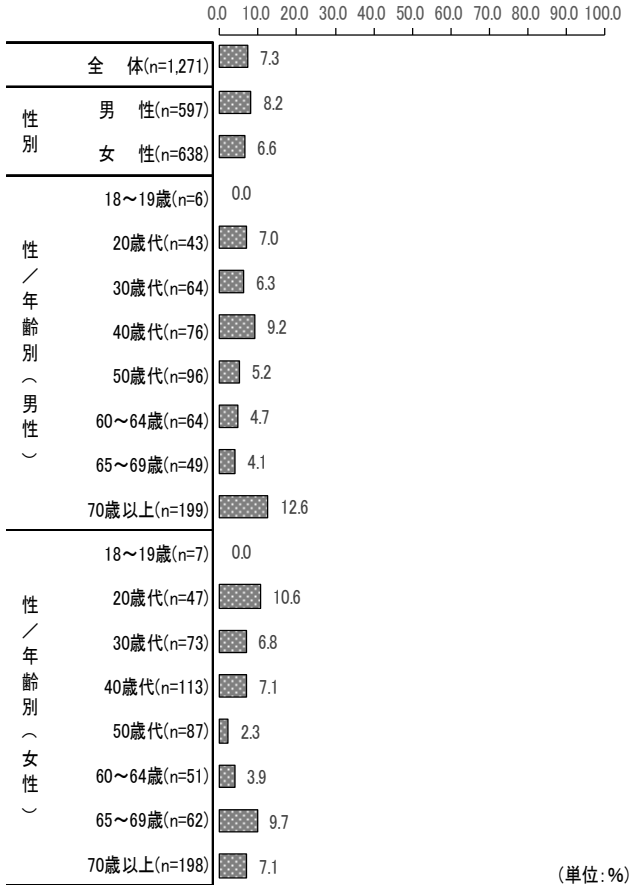
茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動



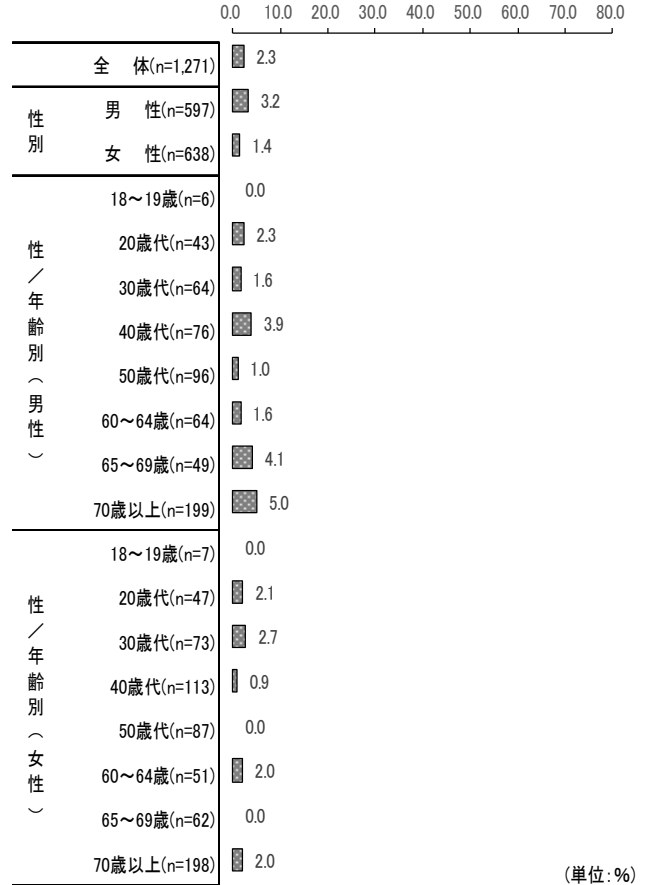
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動



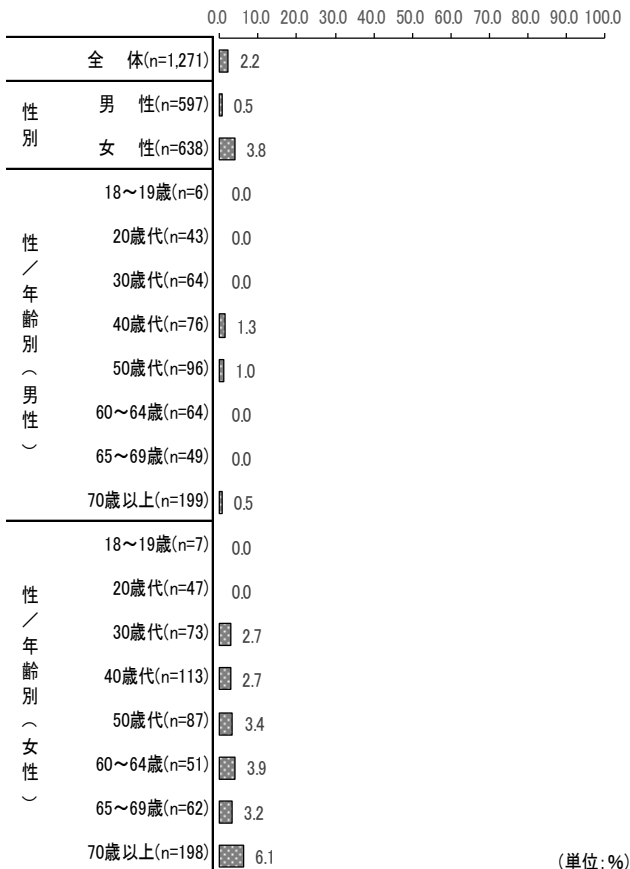
年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動



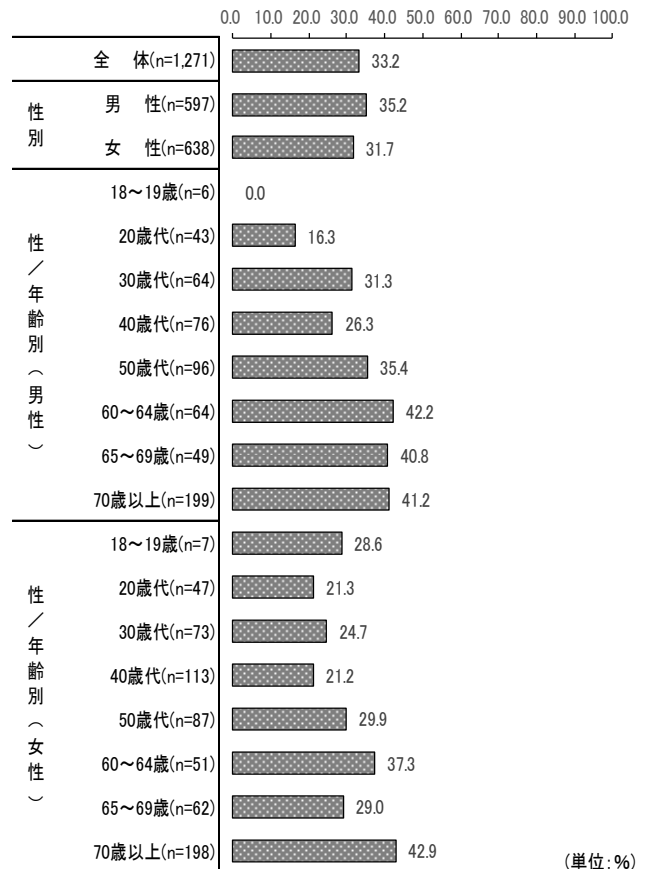
文化遺産の保護・活用に関する活動



雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動



何も行っていない

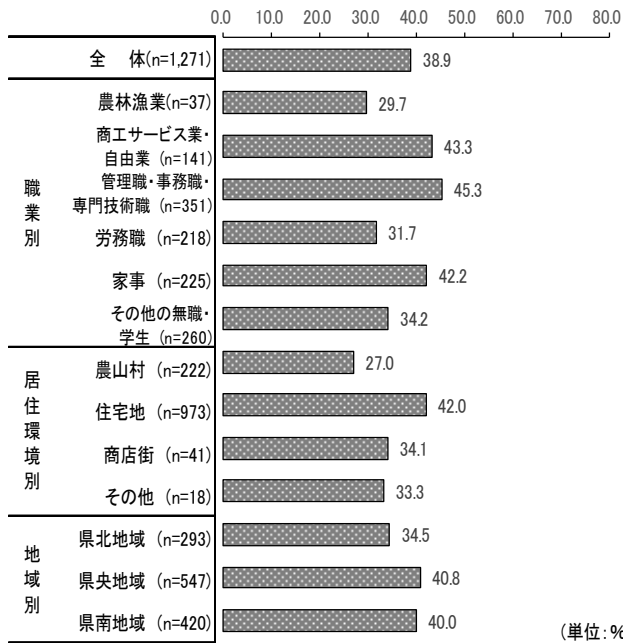


性別で見ると、『芸術活動』では〈女性〉42.9%が、〈男性〉34.7%より8.2ポイント高く、最も差が大きい項目となっている。「茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」では〈女性〉19.6%が、〈男性〉12.2%より7.4ポイント高くなっている。

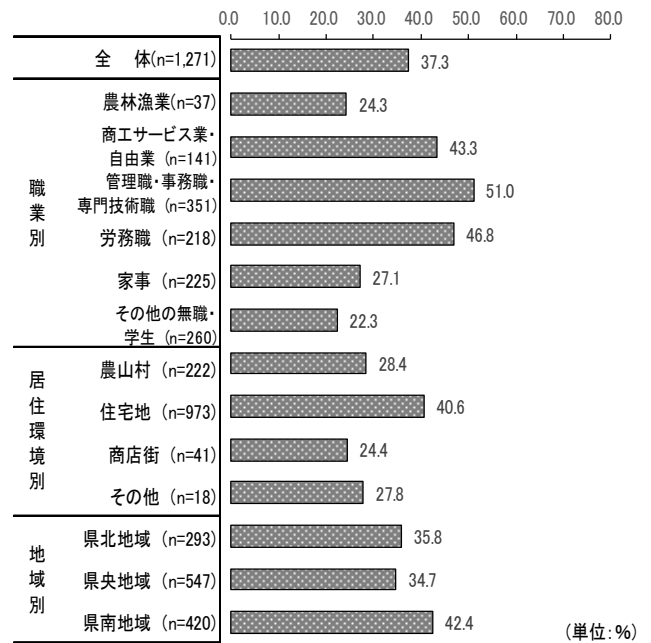
性／年齢別で見ると、『芸術活動』では〈女性40歳代〉55.8%が高く、〈男性60～64歳〉26.6%が最も低くなっている。『メディア芸術活動』では〈男性20歳代〉69.8%が最も高く、〈女性70歳以上〉11.1%が最も低くなっている。『文化活動』では〈女性65～69歳〉35.5%が最も高く、〈男性30歳代〉4.7%が低くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

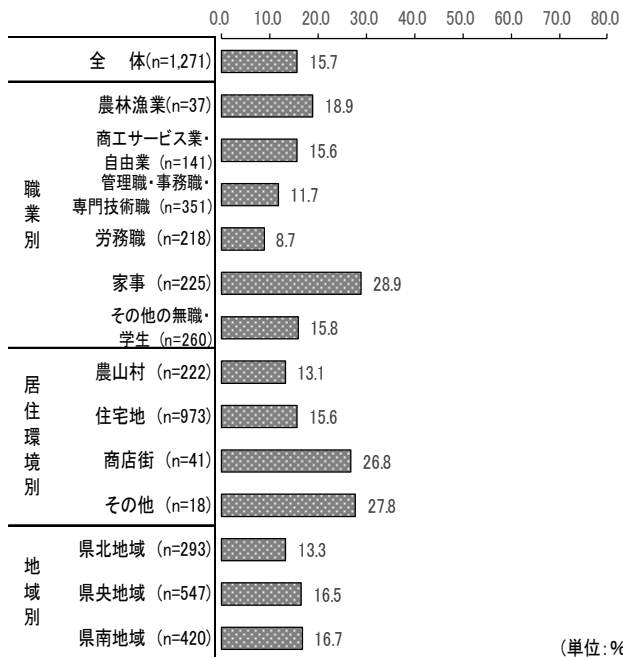
文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動



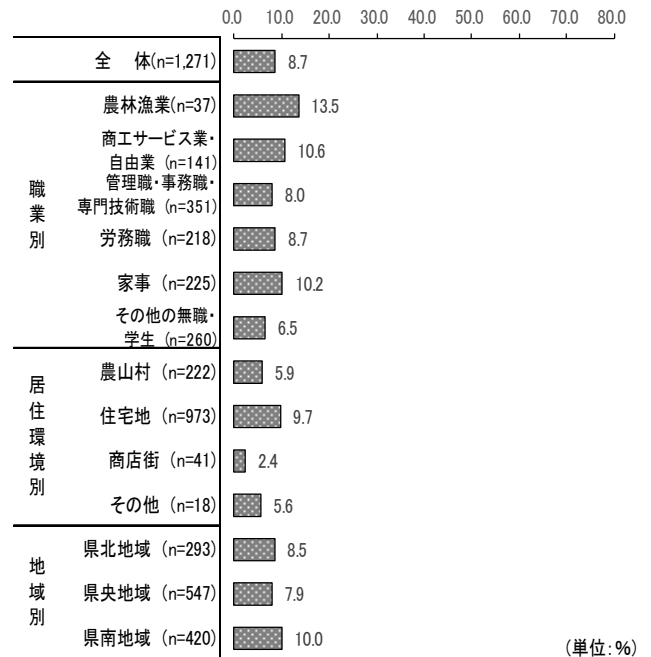
映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動



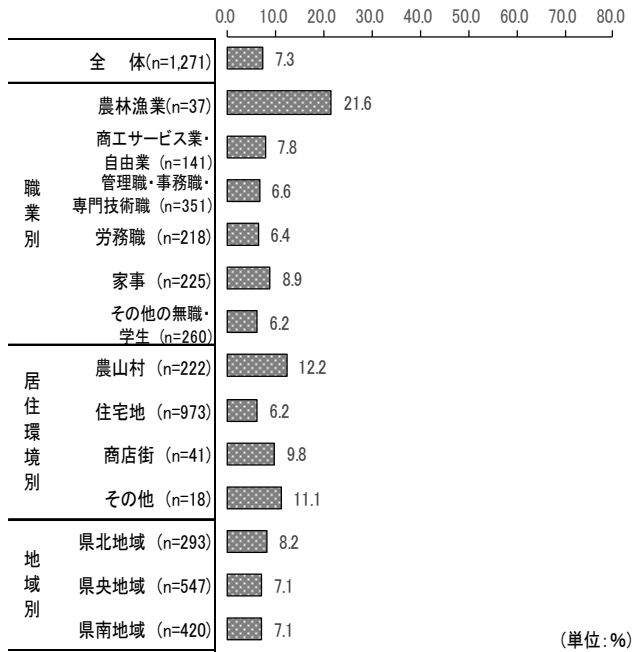
茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動



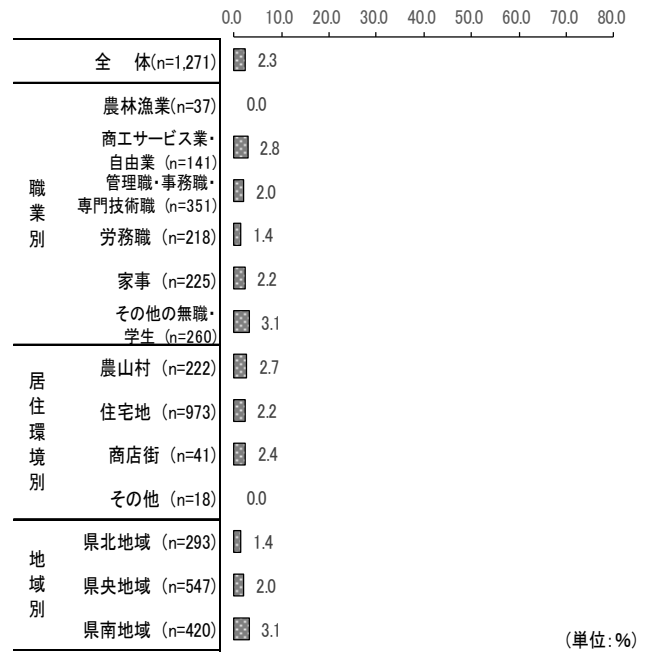
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動



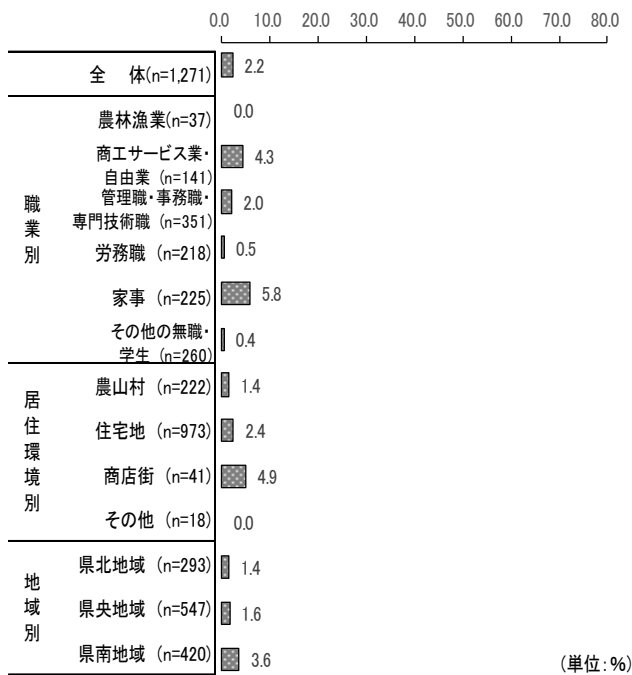
年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動



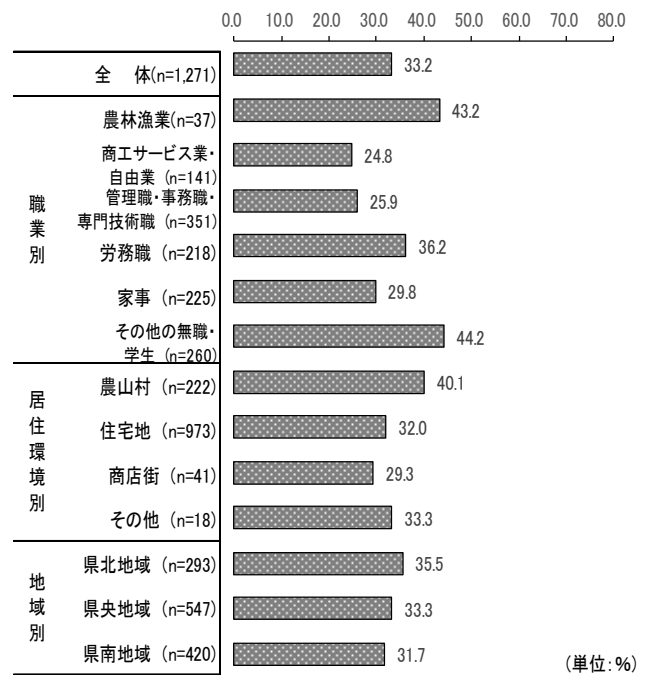
文化遺産の保護・活用に関する活動



雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動



何も行っていない



職業別でみると、『芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉45.3%が最も高く、〈農林漁業〉29.7%が最も低くなっている。『メディア芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉51.0%が最も高く、〈その他の無職・学生〉22.3%が最も低くなっている。『文化活動』では〈家事〉28.9%が最も高く、〈労務職〉8.7%が最も低くなっている。

居住環境別でみると、『芸術活動』では〈住宅地〉42.0%が最も高く、〈農山村〉27.0%が最も低くなっている。『メディア芸術活動』では〈住宅地〉40.6%が最も高く、〈商店街〉24.4%が最も低くなっている。

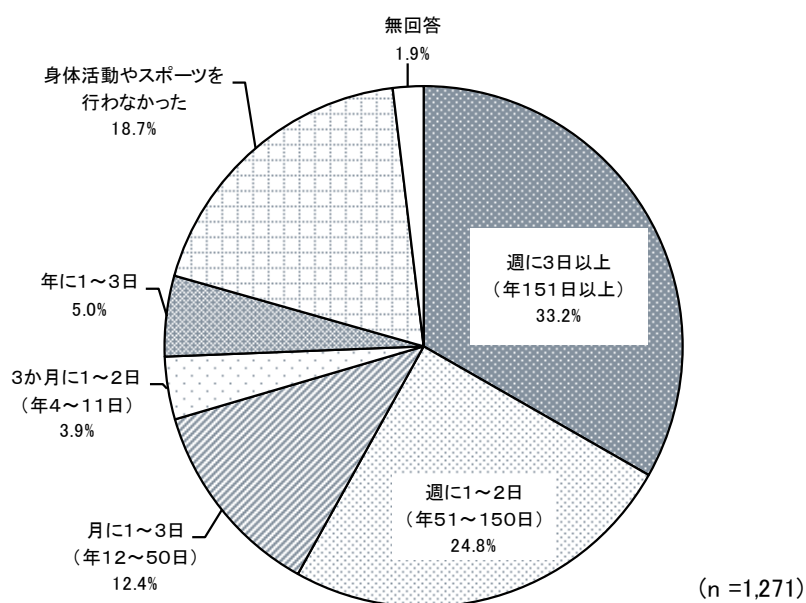
地域別でみると、『芸術活動』では〈県央地域〉と〈県南地域〉がともに約4割、〈県北地域〉が34.5%となっている。

(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度身体活動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

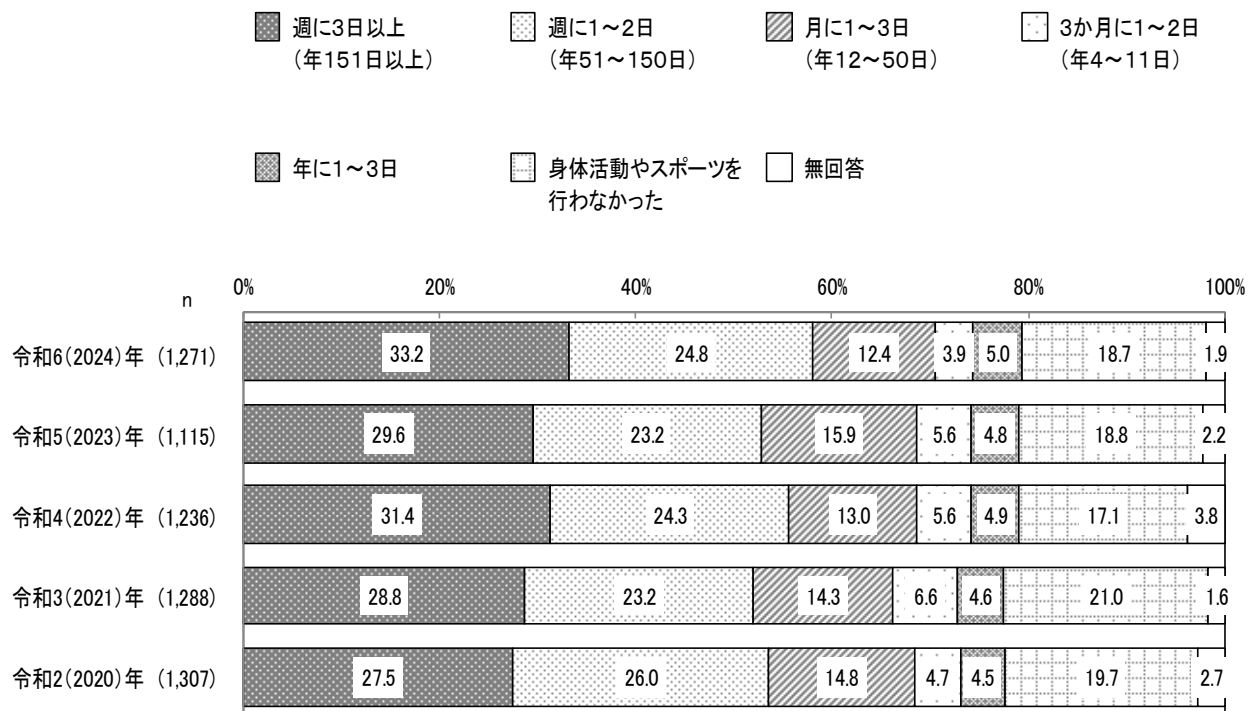
※ ここでは「身体活動やスポーツ」を、「散歩や階段昇降など、健康・体力や美容の保持増進のための活動」や「家事・育児・通勤・通学など日常生活の中で意識的に身体を動かすこと」まで幅広く捉えることとします。

1 週に3日以上 (年151日以上)	33.2%	4 3か月に1~2日 (年4~11日)	3.9%
2 週に1~2日 (年51~150日)	24.8%	5 年に1~3日	5.0%
3 月に1~3日 (年12~50日)	12.4%	6 身体活動やスポーツを行わなかった	18.7%
		(無回答)	1.9%



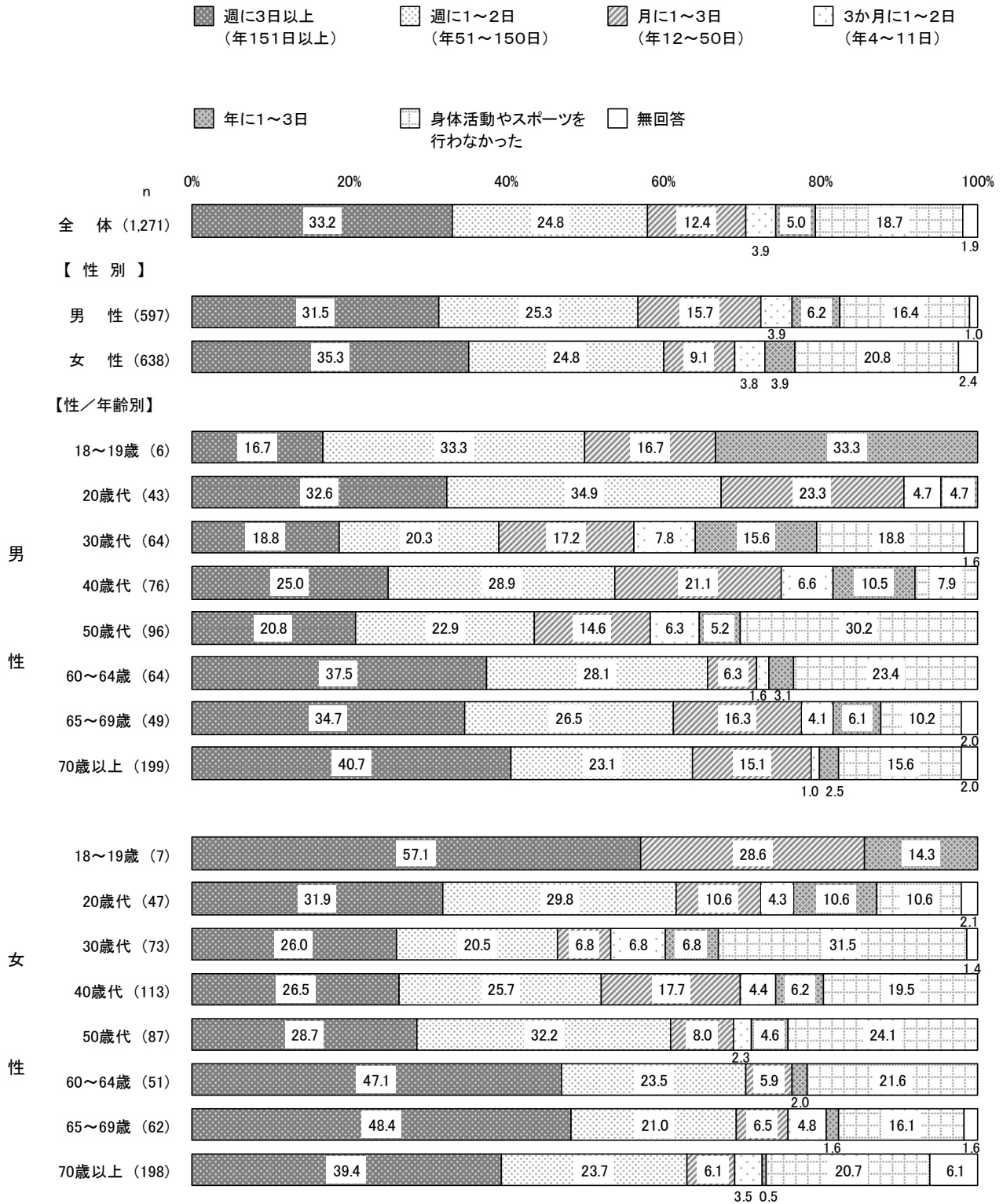
全体で見ると、「週に3日以上(年151日以上)」(33.2%)が3割台前半で最も高く、次いで「週に1~2日(年51~150日)」(24.8%)、「月に1~3日(年12~50日)」(12.4%)の順となっている。一方、「身体活動やスポーツを行わなかった」(18.7%)が2割弱となっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、「週に3日以上（年151日以上）」が前回（令和5（2023）年）から3.6ポイント増加している。一方、「月に1～3日（年12～50日）」が前回（令和5（2023）年）から3.5ポイント減少している。

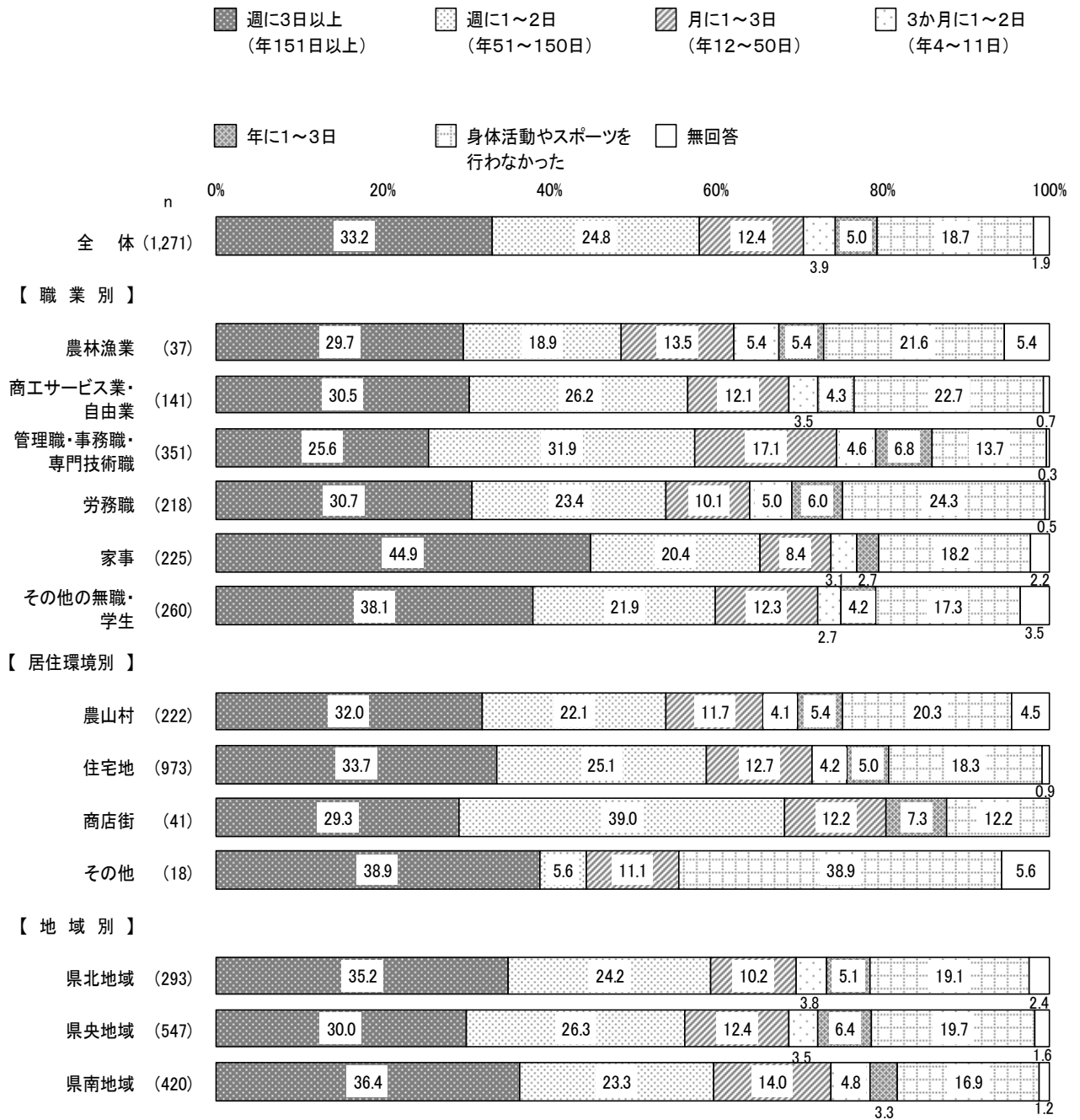
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「週3日以上（年151日以上）」では〈女性〉35.3%が、〈男性〉31.5%より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「週3日以上（年151日以上）」では〈女性65~69歳〉48.4%が高く、〈男性30歳代〉18.8%が低くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈家事〉44.9%が最も高く、〈管理職・事務職・専門技術職〉25.6%が最も低くなっている。

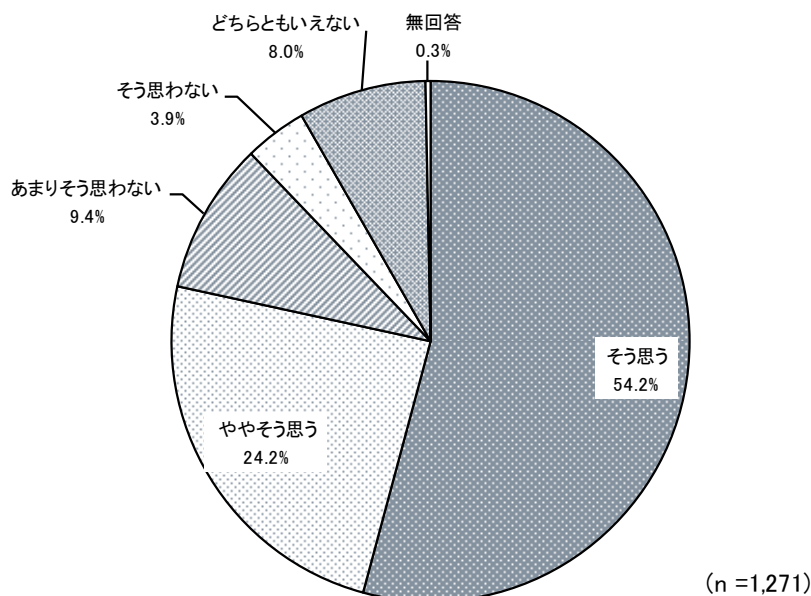
居住環境別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈その他〉38.9%が最も高く、〈商店街〉29.3%が最も低くなっている。

地域別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では、すべての分類で3割台となっている。

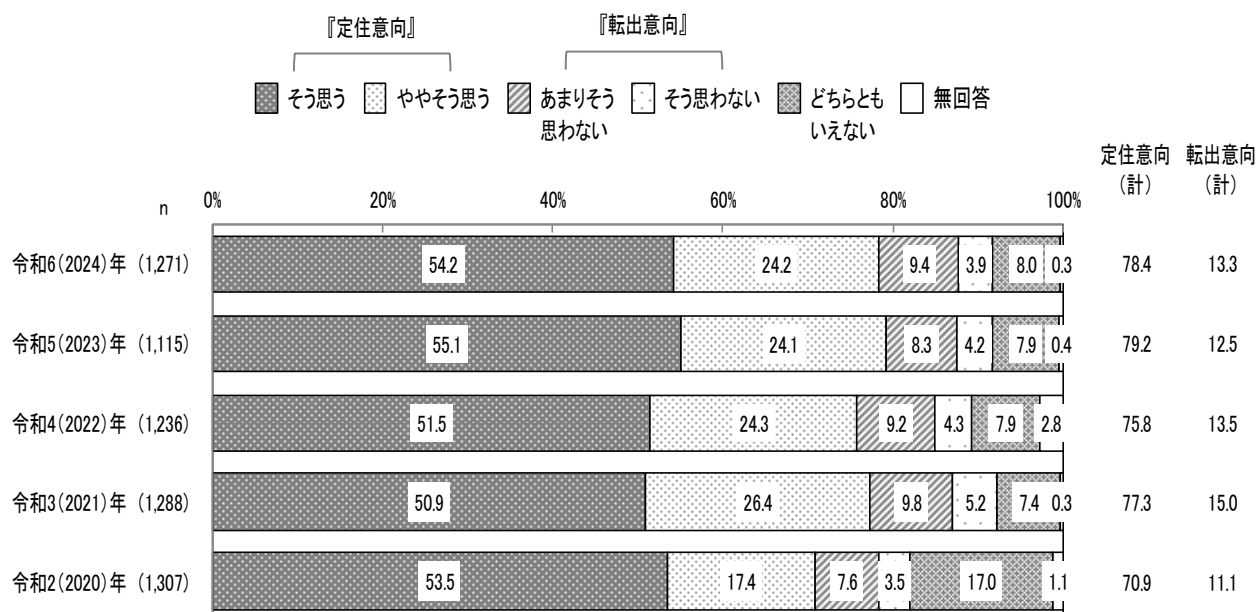
(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

1	そう思う	54.2%	4	そう思わない	3.9%
2	ややそう思う	24.2	5	どちらともいえない	8.0
3	あまりそう思わない	9.4		(無回答)	0.3

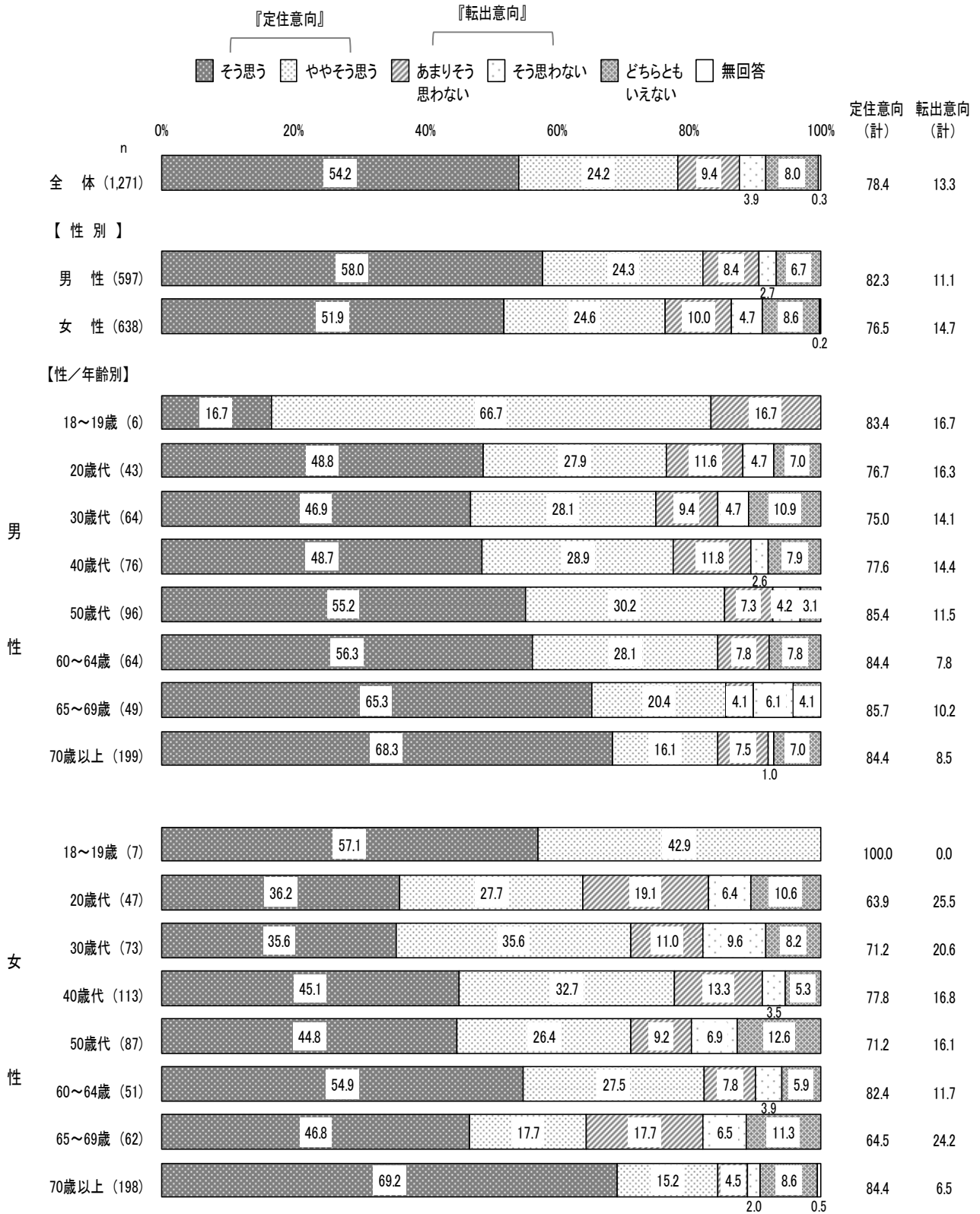


全体で見ると、「そう思う」(54.2%)と「ややそう思う」(24.2%)の2つを合わせた『定住意向』(78.4%)が8割弱となっている。一方、「あまりそう思わない」(9.4%)と「そう思わない」(3.9%)の2つを合わせた『転出意向』(13.3%)が1割台前半となっている。



過去の調査結果と比較すると、前回(令和5(2023)年)と大きな傾向の違いはみられない。

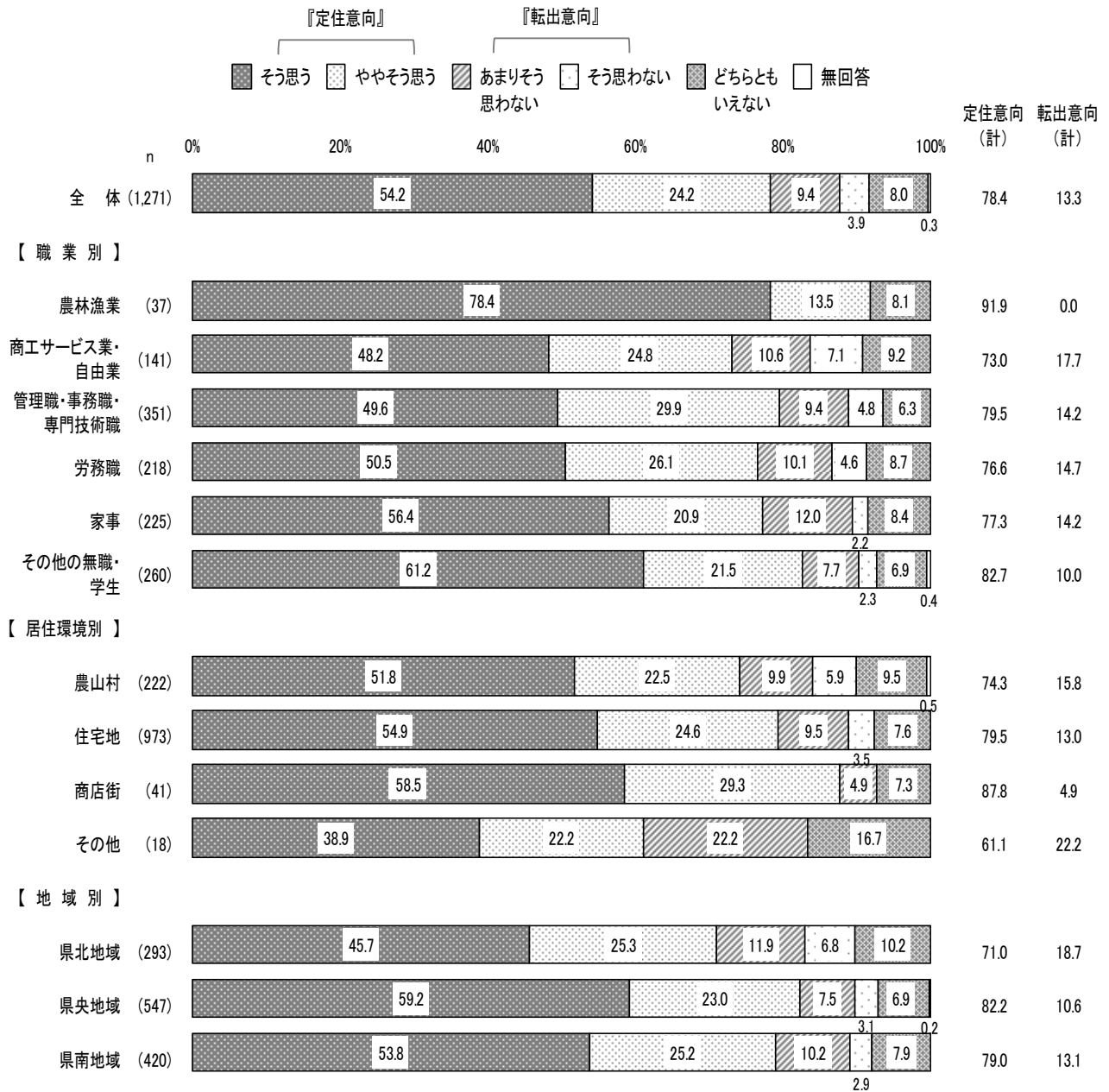
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『定住意向』では〈男性〉82.3%が、〈女性〉76.5%より5.8ポイント高くなっている。一方、『転出意向』では〈女性〉14.7%が、〈男性〉11.1%より3.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『定住意向』では〈男性65～69歳〉85.7%が高くなっている。一方、『転出意向』では〈女性20歳代〉25.5%が最も高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『定住意向』は〈農林漁業〉91.9%が最も高くなっている。一方、『転出意向』では〈商工サービス業・自由業〉17.7%が最も高くなっている。

居住環境別でみると、『定住意向』では〈商店街〉87.8%が最も高くなっている。一方、『転出意向』では〈その他〉22.2%が最も高くなっている。

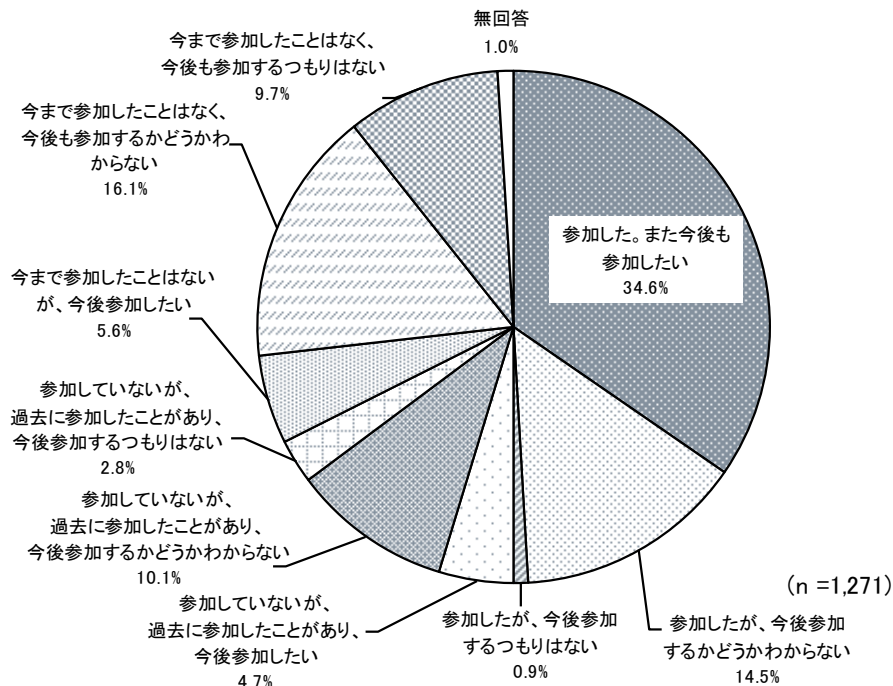
地域別でみると、『定住意向』では〈県央地域〉82.2%が最も高くなっている。一方、『転出意向』では〈県北地域〉18.7%が最も高くなっている。

(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

1	参加した。また今後も参加したい	34.6%
2	参加したが、今後参加するかどうか分からない	14.5%
3	参加したが、今後参加するつもりはない	0.9%
4	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	4.7%
5	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうか分からない	10.1%
6	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	2.8%
7	今まで参加したことはないが、今後参加したい	5.6%
8	今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうか分からない	16.1%
9	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	9.7%
	(無回答)	1.0%

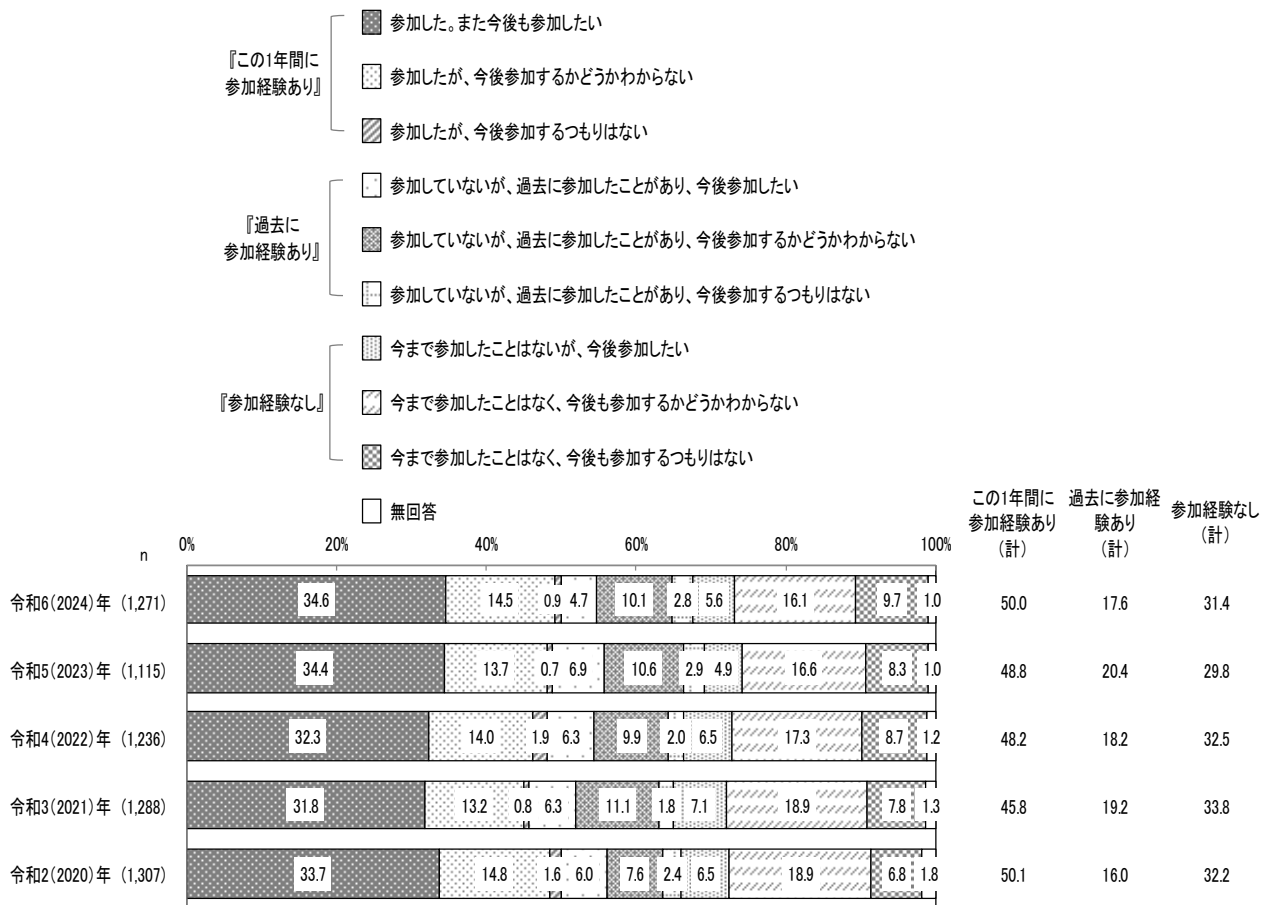


全体で見ると、「参加した。また今後も参加したい」(34.6%)と「参加したが、今後参加するかどうか分からない」(14.5%)、「参加したが、今後参加するつもりはない」(0.9%)の3つを合わせた『この1年間に参加経験あり』(50.0%)が5割となっている。

「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい」(4.7%)と「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうか分からない」(10.1%)、「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない」(2.8%)の3つを合わせた『過去に参加経験あり』(17.6%)が1割台後半となっている。

「今まで参加したことはないが、今後参加したい」(5.6%)と「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうか分からない」(16.1%)、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(9.7%)の3つを合わせた『参加経験なし』(31.4%)が3割強となっている。

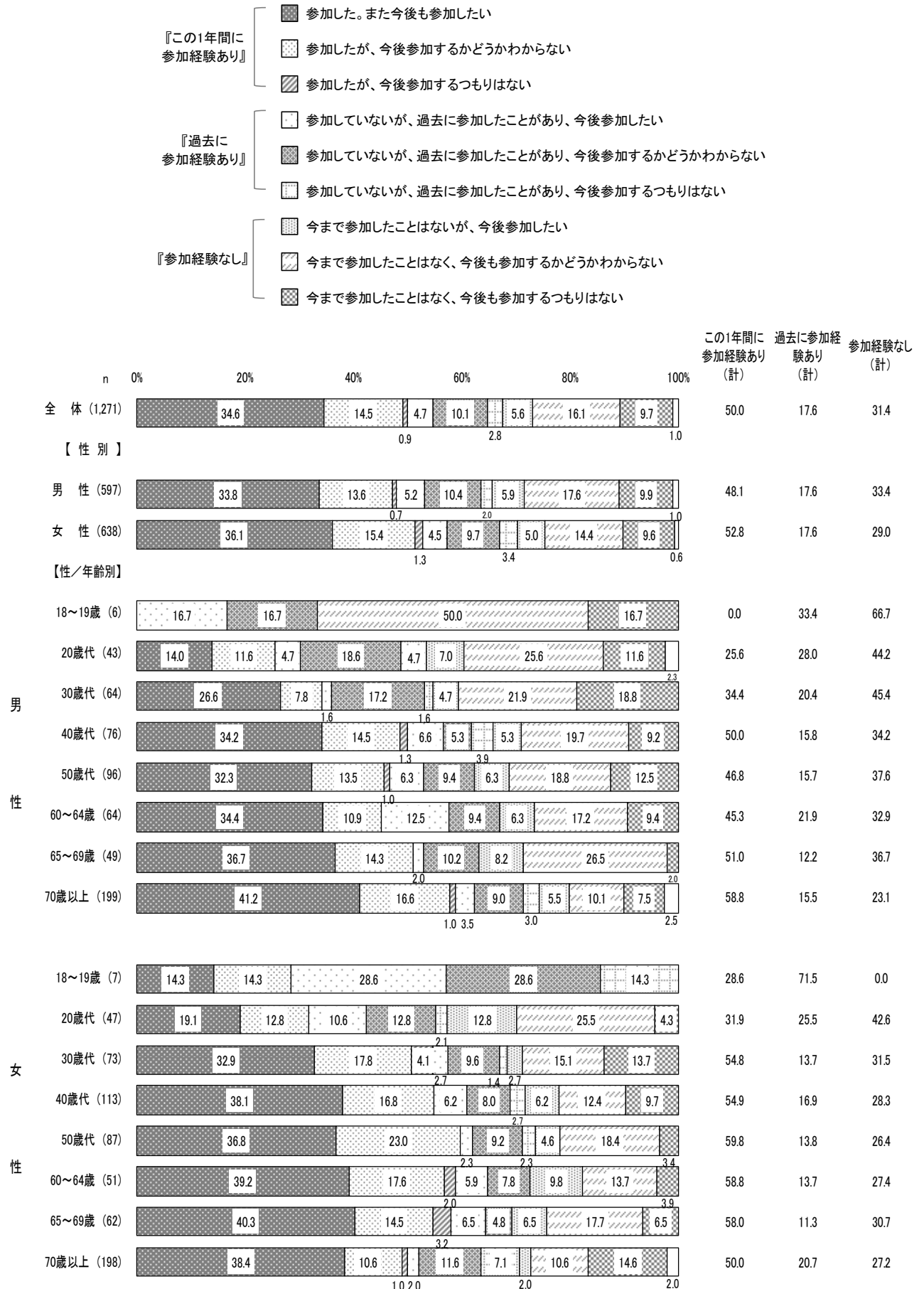
[過去の調査結果]



(※) 「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

過去の調査結果と比較すると、『過去に参加経験あり』では前回(令和5(2023)年)から2.8ポイント減少している。

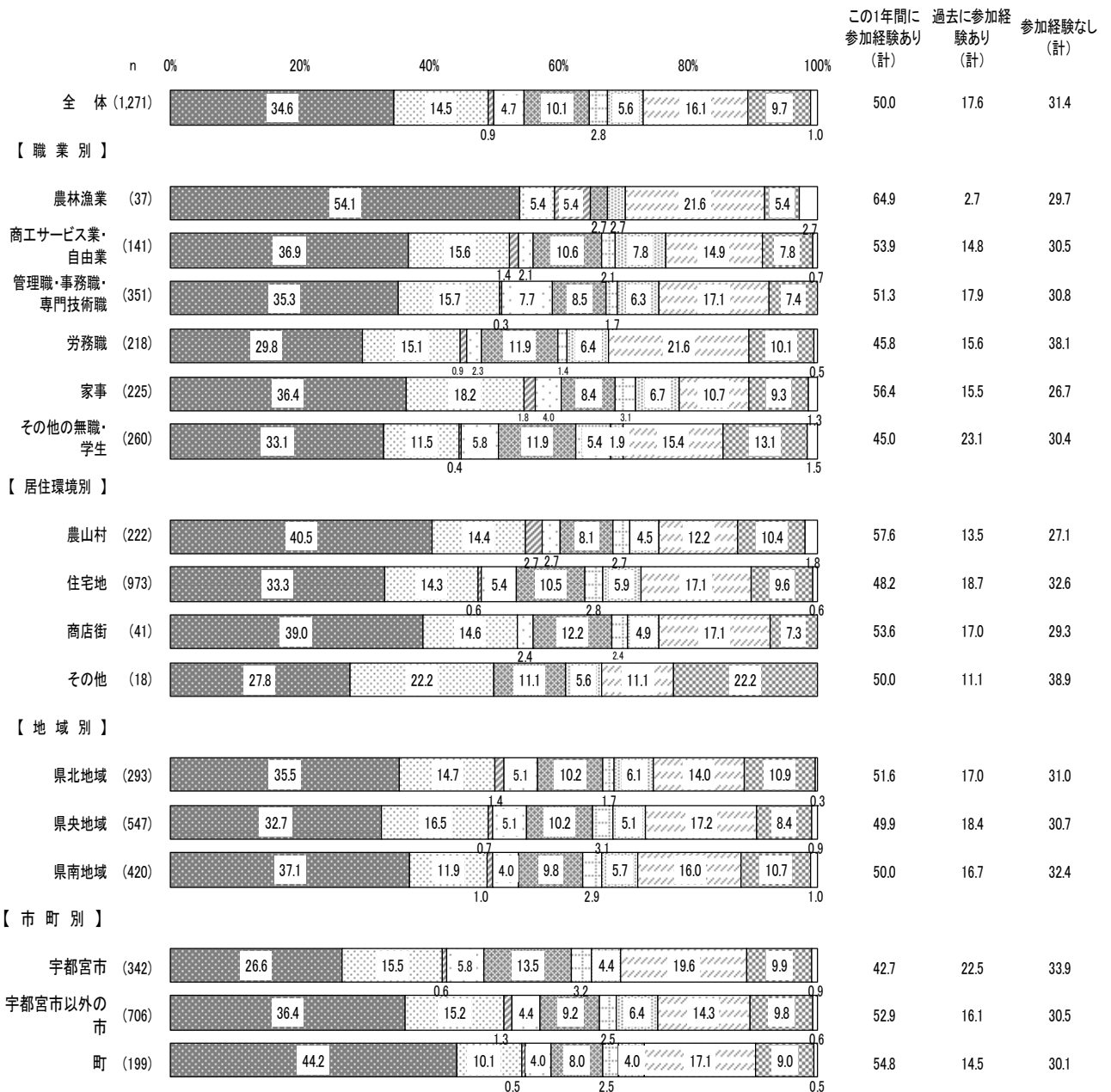
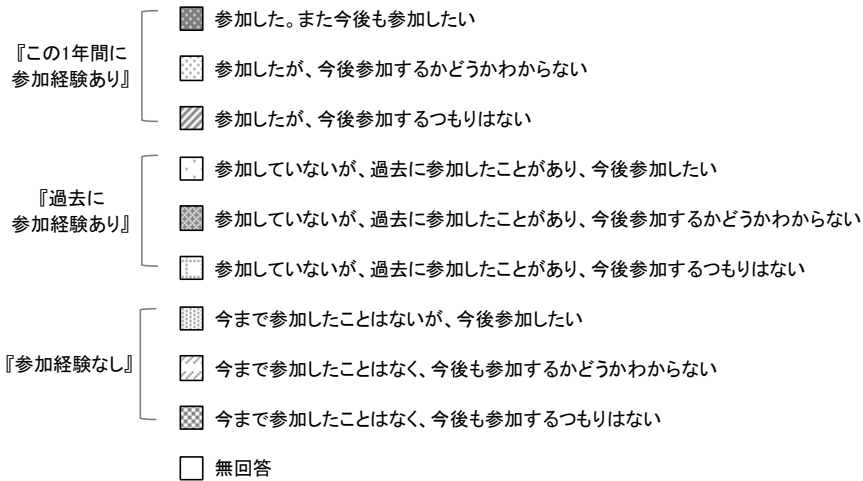
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈女性〉52.8%が、〈男性〉48.1%より4.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈女性50歳代〉59.8%が最も高く、〈男性20歳代〉25.6%が低くなっている。『参加経験なし』では〈男性30歳代〉45.4%が高く、〈男性70歳以上〉23.1%が低くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農林漁業〉64.9%が最も高く、〈その他の無職・学生〉45.0%が最も低くなっている。

居住環境別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農山村〉57.6%が最も高く、〈住宅地〉48.2%が最も低くなっている。

地域別でみると、『この1年間に参加経験あり』では、すべての分類で約5割となっている。

市町別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈町〉54.8%が最も高く、〈宇都宮市〉42.7%が最も低くなっている。